

友部地区渋滞対策『(仮称) 鯉淵南友部線整備事業』説明会 質疑応答記録

開催日時：令和5年6月24日(土) 午前10時から午前10時45分

開催場所：友部公民館 3F大ホール

出席者：79名

《説明後の質疑応答》

1. 既設水路の整備について
2. 交通安全対策について
3. 計画道路の終点部について
4. 残地買収について
5. その他の地区の渋滞対策について
6. 整備後の効果について
7. 新しい道路の位置について

1. 既設水路の整備について

【意見等】

近年、線状降水帯の発生により各地で河川の氾濫が起きているが、新しく道路をつくることにより水路の水量が増え、越水などすることのないようにしてほしい。

【回答】

計画道路周辺に水路があり、瀬沼前川に流入していることは承知しています。道路の整備計画にあわせて水路の調査等も行っていく予定であり、その中で対応を検討したいと考えています。

2. 交通安全対策について

【意見等】

県立中央病院の北側を通過して大原小学校方面に道路がアクセスされると、だいぶ通行がしやすくなり、交通量も増えてくると思うが、片側二車線とすることや大原小学校周辺の交通安全対策等はどのように考えているか。

【回答】

新しくできる道路の交通量は約6,800台/日を見込んでおり、当該交通量については片側一車線でも十分に対応可能だと考えています。

また、交通安全対策については、学校関係者や、警察とも協議を行い、安全対策をしっかり図って行きたいと思っております。

3. 計画道路の終点部について

【意見等】

今回の計画では道路の終点はどこにくるのか。

【回答】

道路の終点については、大原小学校前の市道（友）1級3号線に接続する計画となっています。

4. 残地買収について

【意見等】

計画を見ると道路が自身の水田の真ん中を通るような計画だが、買収を行うのは道路の幅だけで、残地は買収してもらえないのか。

【回答】

まだ詳細設計を行っていないため実際にどのような形で残地となるかということは回答することが難しいですが、残地買収は基本的に行っておりません。状況に応じて土地所有者の方と協議しながら交渉を進めていきたいと考えています。

5. その他の地区の渋滞対策について

【意見等】

県道水戸岩間線と市道（友）1級9号線との交差点は相当渋滞しており、旭町から友部駅までも右折車線や右折信号がなくてかなり渋滞している。そこも早急に対策をお願いしたい。

【回答】

このバイパス整備以外の友部地区の渋滞対策につきましても、引き続き検討を進めていきたいと考えています。

6. 整備後の効果について

【意見等】

鯉淵地区の県道友部内原線と市道（友）2級5号線との交差点を起点として計画されているようだが、現在の渋滞解消にどれほど役に立つのか。

【回答】

バイパスを整備したことによる効果ですが、起点側となる県立中央病院前の県道友部内原線の交通量は、現在約15,000台/日に対し、整備後は10,300台/日と約5,000台/日の減少が見込まれ、なおかつ鴻巣跨線橋も約14,000台/日から11,000台/日と約3,000台/日の減少が見込まれるという予測結果が出ています。

7. 新しい道路の位置について

【意見等】

涸沼前川沿いに道路を通し、起点部を水戸市の内原支所へ向かう道路へ接続したほうが、効果が期待できるのではないか。

【回答】

このルートを決めた理由については、将来県立中央病院へ涸沼前川側からアクセスできるように道路の整備計画を検討しており、その際涸沼前川沿いのルートにした場合、病院までのアクセス道路の延長が長くなることで事業費が高くなる可能性があるため、現在のルートとしました。